

野菜摂取状況調査の概要

1 目 的 県民の野菜の摂取状況や野菜摂取に対する考え方等を把握し、野菜摂取促進のための媒体や普及啓発方法を検討するための基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査対象 20～40歳代の県民（全市町）2,400人

* 県内を5ブロック（4保健福祉センター管内 及び 金沢市）に分け、ブロックごとに下記の12グループを設定し、それぞれ40人を調査対象とした。

(40人×12グループ×5ブロック=2,400人)

グループ	年齢	性別	家族形態	調査対象者数
1	20～29歳	男性	1人暮らし	40人
2	〃	〃	家族同居	40人
3	〃	女性	1人暮らし	40人
4	〃	〃	家族同居	40人
5	30～39歳	男性	1人暮らし	40人
6	〃	〃	家族同居	40人
7	〃	女性	1人暮らし	40人
8	〃	〃	家族同居	40人
9	40～49歳	男性	1人暮らし	40人
10	〃	〃	家族同居	40人
11	〃	女性	1人暮らし	40人
12	〃	〃	家族同居	40人

3 調査実施数

調査実施数は2,615人であり、その内訳は下記のとおりであった。

年齢	性別	家族形態	南加賀	石川中央	能登中部	能登北部	金沢市	計
20～29歳	男性	1人暮らし	17人	36人	19人	4人	24人	100人
		家族同居	44人	49人	60人	27人	34人	214人
	女性	1人暮らし	20人	41人	46人	6人	83人	196人
		家族同居	106人	127人	120人	38人	175人	566人
30～39歳	男性	1人暮らし	8人	26人	15人	4人	12人	65人
		家族同居	57人	51人	71人	38人	32人	249人
	女性	1人暮らし	5人	28人	15人	4人	15人	67人
		家族同居	119人	62人	87人	66人	52人	386人
40～49歳	男性	1人暮らし	7人	23人	15人	11人	2人	58人
		家族同居	70人	71人	48人	38人	49人	276人
	女性	1人暮らし	8人	23人	18人	6人	4人	59人
		家族同居	95人	72人	66人	89人	57人	379人

4 調査時期 平成24年6月～7月

5 調査内容 別紙調査票のとおり

- (1) 朝食・昼食・夕食の内容
- (2) 1日に摂取する野菜料理の皿数
- (3) 野菜の必要量に関する知識の有無
- (4) 野菜の効用に関する知識の有無
- (5) 自分の野菜摂取量に対する意識
- (6) 野菜が足りないと考えている場合、その理由
- (7) 野菜摂取のための工夫
- (8) 野菜摂取のために知りたいこと

6 調査方法

- (1) 調査員は食生活改善推進協議会（以下、「協議会」という）の会員とした。
- (2) 県の4保健福祉センター管内協議会及び金沢市協議会がそれぞれ、5つのブロックの調査を担当した。金沢市以外のブロックについては、調査対象人数を市町の実情に応じて、各市町協議会に割り振った。
- (3) 調査員が対象者に聞き取り、あるいは留め置きにより調査した。